

# 江戸かわら版

教育のつどい2009速報 No.9

★みなさんの声をお寄せください★

【発行】「みんなで21世紀の未来をひらく  
教育のつどい2009」速報係  
【連絡先】電話03 (3230) 3891  
Fax03 (3262) 9705  
E-mail: tokyoso@zenkyo.org



いよいよ2日め。東は江東から西は国立まで、都内各地で29の分科会が開かれています。教育研究全国集会の醍醐味、分科会の様子を何号かに分けて報告します! (\*^\_^\*)

## 第6分科会 美術教育



体の関節が動く仕掛けを使って行った小学校の版画の指導、特別支援学級等のレポートがありました。子どもの見方、生徒自身の学びとは何かということを変えて知らされました。



会場には作品がずらり…生き生きとした子どもの姿が目に見えます

参加者がたくさん増えて、口の字型から教室形式になりました。

## 分科会報告



## 第9分科会 技術・職業教育

「ものづくりに関心を持って入学してくる生徒が3分の1」「実習が大変。予算もかつてと比べてとても減っている」「愛媛を調査したとき、生徒から集めた実習費で愛媛はエアコンに使っているのが一般的と聞いてショックを受けた」との発言が印象的でした。

速報特派員 奮闘中! φ(. .);メモメモ...

各分科会報告の記事と写真を担当しているのは、東京現地スタッフの「特派員」のみなさんです。「携帯で写メとメールで送ってください」の指令に「オレ、親指でメールできないよ〜」という嘆きの声も。「はじめて携帯でメールします」という人も。それでもちゃんと記事と写真が届き、こうして速報をつくられているわけです(感謝感謝!)参加者のみなさん、特派員から取材を受けたら、ぜひ!ご協力をお願いしま〜す。(速報担当・〇)



### お詫びと訂正

「江戸かわら版No.8」に掲載した「第9フォーラム」の右上の写真は、「第8フォーラム」のものでした。お詫びして訂正いたします。<( \_ )>

「江戸かわら版」バックナンバーは、都教組HPをご覧になるか、全国教育会館1Fに置いてありますので、お持ちください。

# 第21分科会 教育条件確立の運動



横浜国立大学の新井秀明さんと神戸大学の土屋基規定さんによる基調報告がありました。

群馬の松井田高校の橋爪さんのレポート報告がありました。2006年の事例で、父親がリストラされ、電気を止められ、生活保護の申請が認められず、結局辞めてしまったケースが報告されました。

学校や分会の対応、福祉の行政の現状と対策が論議され、高校の就学援助制度の必要性が叫ばれました。県教組と県教委との交渉が歯止めをかけている面がありました。就学援助費がきちんと、目的に使われない現状もあり、援助のあり方についても論議されました。

参加者約30人ほどで、始まりはゲームでのグループ分けから。声を出さずに生年月日順に並びます。全体の雰囲気は和み和気あいあいになり良いスタートを切りました。

基調報告は和歌山大学の江利川春雄先生。新自由主義の影響下、ここ10年で英語の学力低下が著しく進み偏差値換算で7も下がったこと、もっともわからない教科としてアンケート結果に上がるのが英語であることなどの実態が明らかにされました。

現在はグループ名を決めています。「昼の池袋」なんて名前も出てきて笑いもおきています。

## 第2分科会 外国語教育



# 第16分科会 青年期・思春期の進路と教育



はじめは『教育の貧困』と中等教育」を柱に報告がありました。東京の中学校からは進路状況から見えてくることについて、「お金」と「学力」の問題について事例を元に報告がありました。

大阪の定時制高校の実態や滋賀からは高校の特別な支援を必要とする生徒の事例などの報告が続き、午後からは午前中の討論の後、二つの小分科会に分かれて進められます。

深刻で重い状況が語られる中でも、時々笑いがあり和やかな雰囲気です。